

日本薬剤師会

決めよう、1つの薬局に
探そう、信頼できる「かかりつけ薬剤師」を！

行きつけの薬局はありますか？信頼できる薬剤師はいますか？薬局、薬剤師の役割を正しく知って、どんどん活用しましょう！

➤ ふだんから利用する薬局を1つに決めよう

あなたが使用する薬を1つの薬局で管理することで、複数の医療機関から同じ薬が処方されたり、相互作用を防ぐことができます。

➤ 薬や健康のこと、なんでも相談できる「かかりつけ薬剤師」を探してみよう

薬のこと、健康のことでお困りの際は、休日・夜間いつでも相談に応じます。

➤ 「かかりつけ薬剤師・かかりつけ薬局」を活用しよう

ご存知ですか？まだまだある、薬剤師の活用方法。

- ・薬の飲み残しや飲み忘れなどを起こさないように患者さんをサポートします。
- ・在宅で療養中の方にも、ご自宅などにお伺いし、薬に関するサポートやアドバイスを行います。
- ・要指導医薬品・一般用医薬品などの市販薬や健康食品などをお求めの際も、症状に適した商品と一緒に探します。



子どもによる医薬品の誤飲事故に注意しましょう

子ども、特に乳幼児は手にしたものを何でも口を持っていく特徴があります。このため、とんでもないものを飲み込んで健康被害を起こす事例が後を絶ちません。

厚生労働省から公表された平成 26 年度の調査*では、子どもの誤飲事故ではタバコが最も多く、次に医薬品となっています。効き目の強い薬の誤飲や、通常の使用量を大幅に上回る量の薬の誤飲では、入院が必要となることもあり、また、重い障害に繋がる恐れもあります。

事故の大半は身の回りの大人が注意をすれば防げるものです。家庭内での医薬品の保管・管理には保護者が十分に注意し、誤飲事故から子どもを守りましょう。

*平成 26 年度家庭用品等に係る健康被害病院モニター報告
<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000118641.html>

